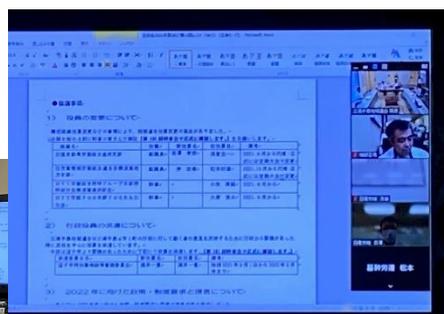


三浦半島地域連合・2022年度に向けた政策・制度

提出に向けて、議員団との見交換を開催!

8月27日（金）18時30分から、全駐労会館2階をWEBを併用して、三浦半島地域連合の2022年度に向けた政策・制度提出に向けた意見交換を開催しました。



この会議は7月幹事会で確認した『政策・制度要求と提言案』の内容を議員団と意見交換して、情報の共有化と政策実現へのお願いをすることを目的に毎年8月に開催しています。

当日、全駐労の会場には五役は議長と代行と事務局、議員団

は12名中、会場参加を希望する5名、それ以外の方はWEB参加として、五役11名、議員団12名の合計23名で開催しました。

冒頭、及川議長から新型コロナウイルス緊急事態宣言下の協力に感謝の意を示すとともに、より良い政策・制度作成に向けて協力がありました。

挨拶後、政策・制度の内容を説明した後、議論となりましたが議員団からは、①会計年度任用職員等への置き換えは、もっと強く求めるべき、②貧困問題については行政によって対応が異なること、③男女共同参画社会の表現の仕方を工夫する、などを中心に約1時間半に渡り、議論を深めました。

最後は酒井議長代行から、今回の意見を盛り込み、充実した政策・制度を作り上げていく決意と新型コロナウイルス禍、感染対策をした上で、各級議員の活躍を祈念し、終了しました。